



# 前進

第6号

7月20日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

## ◎あとかこわい

7月11日(月)に、芦北警察署生活安全係長が来校され、4年生以上の子供たちにSNSの影の部分(危険性)について話をさせていただきました。

6年生は多目的ホールで直接話を聞き、4年生・5年生は各教室からオンラインで話を聞きました。

視聴したDVDの内容は、ある女子高生のSNSを通じて知り合った相手が実



は年齢や性別を詐称した男性で、女子高生が口車に乗せられて自分の姿や個人情報を送信してしまうというものでした。一度ネット上に掲載されたデータは消すことは極めて困難です。警察の方は「あとかこわい」という合言葉を話されました。

あ：会わないで、知らない人と

と：撮らないで、自分の身体、顔

が：画像をおくらないで

こ：個人情報を載せないで

わ：悪口を書き込まないで

い：いじめないで(ネットを使って)



お話しいただいた警察の方は、ネット上の空間でも「誰がどんなことを書き込んだかは、調べれば分かるんですよ。」とお話されました。

ICT機器は私たちの生活を豊かにしてくれるものですが、使い方を誤ると様々な弊害をもたらします。これから豊かな人生をおくっていくためにも、ゲームを含めたメディアと適切に関わり、情報モラルを備え、善悪の判断ができる子供たちを育成していきたいと考えています。子供たちは「聞き飽きた」と思うかもしれませんが、今回のような情報モラルに係る授業は繰り返し実施していく予定です。家庭内における保護者の皆様のご指導も、併せてよろしくお願いします。

なお、夏休み期間中のタブレットの持ち帰りについては、期間を限定します。8月23日(火)・24日(水)近辺で学校に取りに来てもらうこととします。(2年生以上

が対象です。)子供による受け取りが難しい場合は、お手数ですが保護者が取りに来ていただきますよう、よろしくお願いいたします。検索機能はほとんど必要ないかと思えます。e-ライブラリでの学習を中心に行う予定です。

### ◎地域の方のお力を借りて

7月13日(水)に芦北町漁業協同組合の上塚支所長、芦北町地域おこし協力隊員のケビン・ユーゲンさんと田川さんにゲスト・ティーチャーとしてお越しいただきました。そして、4年生が総合的な学習の一つとして学んでいる「うたせ船」について、くわしく説明していただきました。



4年生は準備していた質問をたくさん行い、うたせ船の様子やうたせ漁について聞き取りを行いました。観光うたせ船について3人は「お客様に喜んでもらえることを心掛けている。より多くの方にうたせ船の魅力を伝えるようにしている」と話されました。特にケビンさんは「うたせ船は世界的にめずらしい。環境にも優しく、何とか守りたいと思った。」と話されました。ドイツ出身のケビンさんを引き付けるほどの魅力あるうたせ船。4年生の子供たちも芦北町の素晴らしさを再発見できたことと思います。

### ◎水泳でもゲスト・ティーチャーにお世話になりました。

今年度、佐敷小学校の水泳の授業に温泉プールのインストラクター福岡聖子さんにゲスト・ティーチャーとして参加いただきました。

様々な指導技術をお持ちで、褒めて伸ばす声掛けに、子供たちはもちろん教職員も大変参考になる時間となりました。



【校長室から】学期末にかけて、新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大し、保護者の皆様も心配されたことと思います。いよいよ夏休みに入りますが、交通事故、海難事故等の防止に加え、ご家庭でも新型コロナウイルスの感染防止に努めていただくようよろしくお願いいたします。子供さんの陽性が判明した場合、濃厚接触者に特定された場合、同居家族の陽性が判明した場合は、学校まで連絡をお願いいたします。